

発話末のカネについて

—「～デスカネ／～マスカネ」を中心に—

堀口純子（桜美林大学）

【要約】

発話末にカネを付ける用法は、従来、インフォーマル形に接続する、使用者は年長者で男女とも使用するが男性の方が多い、年下の相手に使用する、という特徴を持っていた。しかし最近では異なるカネの用法が増えているという問題意識を出発点として、その実態を明らかにするために、10代～80代のカネの使用例を収集して分析した。その結果、カネはいろいろな意味機能を伝達する発話末に付けられ、またフィラーと相づちでも多用されていることが明らかになった。

1. はじめに

ことばは常に変化している。それは、最初は「乱れ」と非難され、早々に消えていくものもあるが、時の流れとともに定着していくものも少なからずある。例えば、以下の1～7のような用法は、従来とは異なる用法で、誤りを指摘されるものもあるが、どれも今のところ消えずに日々使われているようである。

- 1 おっしゃられる
- 2 読まれてください
- 3 首相がお答えいただく
- 4 いつ来るかどうかわからない
- 5 そうなんです（相づち）
- 6 なんだろう（フィラー）
- 7 ～ですかね／～ますかね

本稿では、上の中で筆者が特に気になっている「～ですかね／～ますかね」を取り上げて、その用法の広がりを観察する。

2. 従来のカネについて

従来カネは、以下のように使われてきている。

- 1) 今日は成人式かね（80代男性が孫に）[テレビで着飾った若者を見て]
- 2) 新日鉄もう上がんないかね（70代女性が孫に）[テレビで株価を見て]
- 3) この電車は小田急相模原にとまるかね（60代男性が駅員に）[ホームに停車中の電車の前で]
- 4) 景気が悪いのかねえ（50代男性がコンビニの店員に）[客が少ないコンビニで]

上記1)～4)の例に見られるようなカネは、インフォーマル形に接続し、年長者が年下の相手に使用している。男女どちらも使用しているが、男性の使用の方が多い。

橋本(1992:136)は、カネを2つのタイプに分け、「問いかけ」を表すカネは、「年配の男性が、目下

の人間に、ある程度丁寧に言う」と述べている。

このように従来カネは、1 インフォーマル形に接続する、2 使用者は年長者で男女とも使用するが男性の方が多く、3 年下の相手に使用する、という特徴を持っていた。

しかし、この特徴は絶対的なものではなく、上記の3点にあてはまらない使用例も従来の用例の中にないわけではない。1987年に放送された「徹子の部屋」2本と「すばらしき仲間」(NHK) 2本のデータを調べてみると、フォーマル形にカネが接続している用法が、次のように見られた。

「徹子の部屋」(1987年2本)

デスクカネ 2例(60代男性) 2例(40代女性) 1例(黒柳徹子 54歳)

マスクカネ 3例(60代男性)

「すばらしき仲間」(NHK 1987年 2本)

デスクカネ 3例(50代男性) 4例(40代男性)

マスクカネ 1例(40代男性)

また、『合本 女性のことば・男性のことば(職場編)』(2011)のデータを調べてみると、1993年に調査された女性のことばの疑問形式1177中にはデショウカネが1例、1999～2000年に調査された男性のことばの疑問形式1672中にはデスクカネが3例見られる。

3. 最近のカネについて

上で述べたように、従来のカネの用法は、1 インフォーマル形に接続する、2 使用者は年長者で男女とも使用するが男性の方が多く、3 年下の相手に使用する、という特徴を持っていた。しかし、最近はこの特徴に縛られない用法が目立つようになってきた。そのような用法を以下に男女別にあげてみる。

3-1. 最近のカネの使用例(男性)

男性の最近のカネの使用例を、以下にあげる。

5) 川幅が広がっているのがわかりますかね(30代男性気象予報士が40代アナウンサーに)

6) バイクでレースを撮るってどうやって撮るんですかね(30代男性アナウンサーが50代写真家に)

7) オバマは本当におすし、好きなんですかね(30代男性が50代アメリカ研究専門家に)

8) サーフィンを始めてまだ半年ちよいですかね(20代男性俳優が40代女性司会者に)

5)～7)は、30代の男性が、8)は20代の男性が、それぞれ自分より年長の相手に向かってフォーマル形のマスまたはデスの後にカネを付けて使用した例である。

9) ライターわすれてないですかね(20代男性店員が席を立った客に)

10) 今のコメントに僕がコメントしても大丈夫ですかね(20代男性ラジオパーソナリティがリスナーに)

9)10)は、20代の男性が自分の店に来た客または自分の放送を聞いているラジオのリスナー、すなわち立場的に上である相手に向かってフォーマル形のデスの後にカネを付けて使用した例である。

11) 高校にいろいろな求人が来てるんですが、大工はぼくひとりですかね(男子高校生が30代女性

レポーターに)

12) ぼくの夢がかなうのはいつですかね (17 歳男性スノーボーダーが 30 代男性インタビュアーに)

13) ただのがんこおやじですかね (小 6 男子が電話相談 50 代男性司会者に)

11)~13)は、10 代の男性が自分より年長の相手に向かってフォーマル形のデスの後にカネを付けて使用した例である。

3-2. 最近のカネの使用例 (女性)

女性の最近のカネの使用例を、以下にあげる。

14) これの色違いありますかね (洋装店で 30 代女性が店員に)

15) 今 1 時間っておいくらですかね (カラオケ店で 30 代女性が店員に)

16) そこの前で待っててもらっていいですかね (病院で 30 代女性看護師が 50 代患者に)

14)~16)は、30 代の女性がフォーマル形のマスまたはデスの後にカネを付けて使用した例である。そのうち 16)は、自分より年長の相手に向かって使用した例である。

17) どうして日本に来たんですかね (20 代女性司会者が 50 代馬頭琴奏者に)

18) そんな気持ちで演じましたかね (20 代女優が 70 代女優の吉永小百合に)

19) できないことを克服することですかね (20 代女優が 60 代女性インタビュアーに)

17)~19)は、20 代の女性が自分より年長の相手に向かってフォーマル形のマスまたはデスの後にカネを付けて使用した例である。

20) 今日サークルないんですかね (10 代女性が大学のサークルの部長に)

21) ポアってどういう意味なんんですかね (10 代女性ゲストが 60 代解説者に)

20)~21)は、10 代の女性が自分より年長の相手に向かってフォーマル形のデスの後にカネを付けて使用した例である。

3-3. 最近のカネの傾向

3-1 と 3-2 で、最近耳にしたカネの使用例を男女別に見たが、これらの例はフォーマル形のデスまたはマスに接続している。デスはデスのほかにデシタ、デショウなどを含み、マスはマスのほかにマシタ、マショウ、マセン、マセンデシタを含む。上の例のように、最近ではフォーマル形のデスまたはマスの後にカネを付ける発話が増えている。これは従来のカネの特徴である「1 インフォーマル形に接続する」に縛られずに使用するようになってきているということである。

3-1 と 3-2 で見た 5)~21)の発話者は年齢が 10 代から 30 代で、5)~13)は男性、14)~21)は女性である。これは従来のカネの特徴である「2 使用者は年長者で男女とも使用するが男性の方が多」に縛られずに、どの年齢でも、また男女どちらも使用するようになってきているということである。

3-1 と 3-2 で見た 5)~21)には、自分より年長または立場が上の相手に向かって、デスカネ/マスカネと言っている例が多い。これは従来のカネの特徴である「3 年下の相手に使用する」に縛られずに、自分より年上や立場が上の相手にも使用するようになってきているということである。

このような従来とは異なる最近のカネの用法の特徴をまとめると、以下のようになる。

1. フォーマル形に接続する発話が増えている
2. デスカネ/マスカネの使用者に制限がない
3. デスカネ/マスカネを向ける相手に制限がない

4. データについて

最近は従来とは異なるカネの用法が増えているという問題意識を出発点として、その実態を明らかにするために、以下のようにデータを収集した。

収集期間：2013年5月～2015年7月

収集方法：ラジオ、テレビ、生活の中、ゼミ生からの情報

収集データ数：644例

発話者数（異なり人数）：390名

発話者390名の年代と性別を表1にまとめる。

表1 発話者年代別異なり人数

年代	男性	女性	小計
80代	1	0	1 (0.3%)
70代	10	7	17 (4.3%)
60代	30	11	41 (10.5%)
50代	38	25	63 (16.2%)
40代	47	45	92 (23.6%)
30代	37	42	79 (20.3%)
20代	33	45	78 (20.0%)
10代	7	12	19 (4.9%)
合計	203	187	390 (100%)

収集したデータ644例は390名の発話から得られたものである。発話者390名の年代は、40代が92名(23.6%)でいちばん多く、次いで30代が79名(20.3%)、20代が78名(20.0%)で、40代と30代と20代はそれぞれ発話者全体の20%を越えている。次いで、50代が63名(16.2%)、60代が41名(10.5%)と続く。

従来のカネは使用者が年長者であるが、本稿のデータは20代～40代で64%を占め、さらに10代が19名(4.9%)いることも興味深い。また、従来カネの使用者は男性の方が多いが、本稿のデータは10代～30代は女性の方が多い。

5. データの分析1

収集したデータ644例を、カネで終わる一発話の意味によって分類し、以下で観察していく。

5-1. 質問（回答要求・情報要求）

相手に質問をして、回答や情報を求める使用例を、以下にあげる。

22) 今の事態を憲法学者としてはどのようにみておられるでしょうかね（司会者→^注憲法学者）

23) ブータンの医療はどうでしょうかね（司会者→ブータンから帰国したユニセフ大使）

24) 右と左のソックスの長さが違うんですが、何か心当たりありますかね、〇〇さん

（駅伝実況アナウンサー→解説者）

- 25) 冬はどの位の温度になると眠りやすいんでしょうかね (司会者→スリープクリニック医師)
- 26) これから横浜市はどうなっていくんですかね (司会者→横浜市長)
- 27) 市民ランナーがとても増えてますけど、そんな人はどういうふうにスタートしたらいいですかね
(司会者→ゲストとして招かれたランナー)

22)は、ラジオのニュース番組の司会者が憲法学者に対して、今の事態に対する専門家としての見解を示すことを求めている。「どのようにみておられるでしょうか」でも同様に回答を要求することはできるが、この司会者は発話末にカネを付けて、相手に質問を投げかけている。

23)は、ラジオのトーク番組のゲストとしてブータンから帰国したユニセフ大使を招き、ブータンの医療について情報の提供を求めている。「ブータンの医療はどうでしょうか」でも同様に情報提供を要求することはできるが、この司会者は発話末にカネを付けて、相手に情報提供を要求している

24)は、駅伝の選手が左右の長さが違うソックスをはいていることについて、解説者に心当たりがあるかどうか尋ねている。「何か心当たりありますか」でも心当たりがあるかどうかを尋ね、あればその内容を話してほしいという要求を伝えることはできるが、このアナウンサーは発話末にカネを付けて、さらにその後に相手の名前を呼び掛けて、心当たりについて尋ねている。

25)26)27)も同様に、25)は「どの位の温度になると眠りやすいんでしょうか」、26)は「どうなっていくんですか」、27)は「どういうふうにスタートしたらいいですか」でも、回答や情報提供を要求することはできるが、それぞれの司会者は発話末にカネを付けて、相手に回答や情報提供を要求している。

このように 22)～27)の例は、発話末のカだけでも回答要求や情報提供要求をすることができるが、そのような要求の仕方は直接的な印象を与える。その後にネを付けて発話末をカネにすることによって、発話者は質問をして終わりでは相手任せというわけではなく、相手と一緒に回答を考える気持ちがあるような印象を与え、相手に対する要求度をやわらげているのではないかと考えられる。

5-2. 確実性がややあいまいな事実を述べる

事実を述べようとしているときに、その事実に対する確実性にやや自信がない述べ方をしている使用例を、以下にあげる。

- 28) この番組に出るのは、15年ぶり位ですかね (ゲスト→司会者)
- 29) 1年位前から準備に入りましたかね (映画監督→司会者)
- 30) 歩きながら飲む水は、1, 2リットルですかね (ゲスト→司会者)
- 31) 竹富島にTBS系が映り始めたのは9年位前ですかね (司会者→番組のパートナー)
- 32) 練習のため日本に帰ってきた時に、一緒にごはん食べたんですかね (陣内貴美子→上原浩治)

28)～30)は、ラジオ番組に招かれたゲストが自分のことについて述べているのであるが、28)29)は年数が確実かどうかわからないため「位」を付けて大体の年数を述べ、30)は飲む水の量が確実ではないため「1, 2リットル」と量を特定しないで述べている。28)29)30)はそれぞれ、「15年ぶり位ですか」、「1年位前から準備に入りましたか」、「1, 2リットルですか」と言っても発話は成立するが、独り言のように聞こえる。その後にネを付けて発話末をカネにすることによって、相手にも情報を共有してほしいという気持ちが表されている。

31)32)は、発話者と相手が共有している知識や経験を話題にしている。31)は発話者も相手もTBS関係者であるため、発話者は9年前かどうかややあいまいな知識を「9年位前ですかね」と「位」と「かね」を付けることによって、相手に確認して知識を共有しようとしている。32)は、バドミントン選手

だった発話者が「一緒にごはん食べたんですかね」と、相手の野球選手と食事をした経験を確認して記憶を共有しようとしている。31)32)はカで終わると不自然で、発話末にはカネが必要である。

5-3. 自分の考えを述べる

ゆっくり思考を巡らせながら自分の考えを述べる使用例を、以下にあげる。

33) 僕の人生を変えた一瞬は18歳の時ですかね (鎌田實→司会者)

34) そんな気持ちで演じましたかね (黒木華→吉永小百合)

33)は、65歳になった医師の鎌田實が自分の人生を振り返り、人生を変えた出来事について考え、それを経験した年齢を思い出しながら述べている。34)は大先輩の女優吉永小百合と初めて共演する黒木華が、どんな気持ちで演じたかと聞かれて、その時の気持ちをゆっくり振り返りながら述べている。

自分の考えを、思考を巡らせながら述べる使用例は、突然質問された時に多く、以下に街頭インタビューの例をあげる。

35) 楽天ですかね (好きな会社はどこかと聞かれて)

36) お父さんですかね (大塚家具の父娘どっちを支持するかと聞かれて)

37) お嬢さんですかね (大塚家具の父娘どっちを支持するかと聞かれて)

38) 住みやすいところですかね (名古屋のいいところはと聞かれて)

39) 海外旅行が今いちばんやりたいことですかね (今いちばんやりたいことはと聞かれて)

35)~39)は街頭で突然質問されて答えたものであるが、街頭インタビューでの回答は発話末にカネが付く例が圧倒的に多い。考えをいきなり正確に答えることは難しく、回答があいまいになりやすいため「正確ではないけど大体こんな考えだ」という気持ちをカネで表しているのであろう。

アドバイスを求められて、自分の考えを述べてアドバイスしている例を、以下にあげる。

40) その緊張を演奏にいかしたらどうでしょうかね (小原孝→質問者)

41) やっぱり1回人間ドックじゃないですかね (鎌田實→質問者)

40)は、ラジオのリスナーからピアノの発表会の時に緊張しないで弾く方法や心構えを質問されて、ピアニストの小原孝が答えたものである。緊張しないで弾こうと考えないで、「その緊張を演奏にいかしたら」というアドバイスしているのであるが、それもなかなか難しいことなので、そうしなさいと強く主張するのではなく、一つの選択肢として考えられるように、発話末にカネを付けることによってゆるやかなアドバイスをしていると考えられる。

41)は、健康に不安があるリスナーからの質問に対して、医師の鎌田實が答えたものである。人間ドックに行くことをアドバイスしているのであるが、そうしなさいと強く主張するのではなく、一つの選択肢として考えられるように、発話末にカネを付けることによってゆるやかなアドバイスをしていると考えられる。

40)41)のように、アドバイスの場合には、それは強制するものではなく、相手の選択肢の幅を広げる助けをするものであるから、アドバイスを受けた人がゆるやかに聞けるようにする必要があり、発話末のカネがその役割を果たしているのではないかと考えられる。

5-4. 判断を述べる

自分の判断を述べる使用例を、以下にあげる。

42) シーイルミネーションというのをやってるそうですよ。シーというから海なんですかね

(ラジオ放送 進藤晶子一人語り)

43) いつもより電話が少ないですね、皆さんお出かけなんですかね (ラジオパーソナリティー)

44) 後ろに4頭いるから12着ですかね (競馬中継アナウンサー)

42)は、ラジオでシーイルミネーションというイベントについて、情報を流しているところである。「シー」というイベントの名称から、海で行われるイベントだろうと判断して「海なんですかね」と述べている。

43)は、ラジオのリスナーからの電話がいつもより少ないことから、出かけている人が多いのだろうと判断して「皆さんお出かけなんですかね」と述べている。

44)は、競馬のレース直後にビデオを見ながら後ろにいる馬が4頭であることから、注目していた馬の順位は12着だろうと判断して「12着ですかね」と述べている。

ここで見てきた42)~44)は、事実や情報を提示して、それを根拠にして判断したことを述べる使用例である。判断のための根拠を示してはいるものの、その判断が完全に間違いないとまでは言い切れず、その気持ちをカネで表しているのであろう。

45) ザックジャパンは今とっても落ち着いた状態じゃないですかね (サッカーの岡田監督→司会者)

46) 今年は田中将大に尽きるんじゃないですかね (スポーツジャーナリスト→司会者)

45)46)は、自分の判断そのものを述べている。45)はサッカーの元監督の発話であり、46)は徹底的に取材をしているスポーツジャーナリストの発話であるため、42)~44)のように判断の根拠を示さなくても、自信をもって判断を述べることができる。それを聞く相手も専門家の判断として尊重するであろうから、発話者はカネを付けて、主張が強くなりすぎないようにやや控え目に述べているのであろう。

5-5. 手順を提示する

これから物事を進めていくための手順を提示する使用例を、以下にあげる。

47) スポーツ誌から見ていきましょうか (司会者)

48) まずは一曲聞いていただきましょうか (司会者)

49) まず天気予報からお伝えしましょうか (司会者)

47)~49)は、ラジオ番組の司会者が次に何をするかという手順を示している例である。これは司会者本人が、次にすることを自分に言い聞かせて確認しているのと同時に、視聴者にも次に取り上げられるのは何かという情報を共有してほしいという思いがカネによって伝えられているのであろう。

5-6. 適切な表現探し

自分が言いたいことを適切に伝えるための表現を探しながら発話している使用例を、以下にあげる。

50) 森との一体感というんでしょうか、視覚も嗅覚もとぎすまされてきますね (白神山ガイド)

51) ぎすぎすが柔らかくなるっていうんですか (男性看護師→司会者)

52) 雨に対するインフラっていうんですか、それがあんまりできてないんですね (気象予報士)

53) さくらもりっていう木を守る職業、職業っていうんですか (谷村新司→司会者)

50)は、視覚も嗅覚もとぎすまされてくるという感覚を「森との一体感」という表現で表し、この表現で的確に伝わるだろうかという気持ちをカネで表している。

51)は、闘病生活でぎすぎすしている気持ちが犬とのふれあいで穏やかな表情になってくる患者の

ことを思い浮かべながら「ぎすぎすが柔らかくなる」という表現で表し、この表現が適切だろうかという気持ちをカネで表している。

52)は、気象予報士がこれから雨が強くなるという予報をしながら雨対策に対する注意喚起をしようとしているところで、雨に対する対策を「インフラ」ということばで表すのが適切かどうかをゆるやかに確認しながら伝えているところである。

53)は、シンガーソングライターの谷村新司が「さくらもり」という歌を披露するときに、さくらもりを「職業」というのが適切かどうかとやや迷いながら、歌ができた経緯を説明しているところである。

50)～53)のように、自分が伝えたいことがこの表現で適切に相手に伝わっているだろうか、相手の理解を確認し、相手に情報を共有してもらいながら話しているという気持ちをカネで表しているであろう。

5-7. 依頼・指示

相手に依頼や指示をしている使用例を、以下にあげる。

54) 日本国憲法というのはどういう憲法だということを教えてくださいかね

(司会者萩上チキ→憲法学者)

55) 説明をちょっとしていただけますでしょうかかね (司会者→解説者)

56) もう少し上に上がれますかかね (歯科医師→患者)

57) そこの前で待っててもらっていいですかかね (看護師→患者)

依頼や指示は、行為をするのは相手であるため、その負担を配慮して、発話末にカネを付けてゆるやかに依頼や指示をすることがある。しかし、ネを付けることによって相手にも同意を求める、すなわち相手を引き込んでしまおうとするために、依頼や指示に付けるカネは、強引な印象を与える場合もある。

5-8. 許可を求める

相手に許可を求める使用例を、以下にあげる。

58) 連絡先の電話番号を言っちゃっていいですかかね (司会者→ゲスト)

59) お店の名前言っていいですかかね (ゲスト→司会者)

60) 来られるのはたぶん来月になってしまうんですけど、いいですかかね (患者→看護師)

58)～60)は、発話者は良いと考えているのだが、自分だけでは最終決断に踏み切れないために、相手に許可を求めている使用例である。

6. データの分析2

5章では、収集したデータをカネで終わる一発話の意味によって8つに分類して観察したが、そのほかに発話の意味にかかわらないフィラーと相づちにもカネが使用されている例がある。

6-1. フィラー

フィラーにカネが使用されている例を、以下にあげる。

61) 赤とんぼを聞いていて、なんていうんですかかね、心がゆるむっていうのか (女優)

62) 先輩に教えてもらおうというより、なんでしょうかね、他球場に行っているいろいろなアナウンスを聞いて（球場アナウンサー）

63) スケートからはなれるとけっこうおっちょこちょいで、なんですかね、スケートの時とギャップがある（フィギュアスケーター浅田真央一人語り）

61)62)は、ラジオスタジオで目の前の司会者に話している場面であり、63)はスタジオで一人で話している場面である。収集したフィラーのデータは「なんていうんですか」「なんでしょうかね」「なんですか」のようなナンで始まるものがほとんどで、バリエーションは少ないが、どの年齢層でも多用されている。

6-2. 相づち

相づちにカネが使用されている例を、以下にあげる。

64) (司会者：今日が喫茶店の日なんて店主も知らないでしょうね)
　　そうでしょうかね (番組パートナー)

65) (司会者：色合いがきれいね)
　　そうでしょうかね (ゲスト)

66) (司会者：この年で2冊の著書を出すのは早いと思うんですが)
　　そうですかね (作家)

67) (司会者：福井がいい所ということはよく知られてますからね)
　　そうなんでしょうかね (福井市役所の人)

68) (タモリ：それは団体専用列車でしょうね)
　　ですかね (福山雅治)

69) (司会者：これでばっちり子育て終わりましたね)
　　終わりましたかね (ゲスト)

64)～67)は、「そうでしょうかね」「そうですかね」「そうなんでしょうかね」などネが付かない形でも使える。しかし、68)はネが付かない「ですかね」だと相づちではなく疑問になる。69)もネが付かない「終わりましたかね」だと相づちではなく疑問になるが、自分にかかわる事実疑問で応じることになり、不適切な応答になる。

7. 「～デスクネ／～マスカネ」のこれから

従来発話末のカネは、次のような特徴を持っていた。

- 1 インフォーマル形に接続する
- 2 使用者は年長者で男女とも使用するが男性の方が多い
- 3 年下の相手に使用する

しかし最近はこれらに縛られない発話を数多く耳にする。従来とは異なるカネの用法が増えているという問題意識を出発点として、ラジオ、テレビ、生活の中、ゼミ生の情報から390名分644例を収集し、その実態を明らかにした。

収集したデータの形式と発話者とその相手（聞き手）について、最近のカネの用法の特徴をまとめると、従来とは異なる以下のような3点が明らかになった。

- 1 フォーマル形に接続する発話が増えている

- 2 デスカネ／マスカネの使用者に制限がない
- 3 デスカネ／マスカネを向ける相手に制限がない

収集したデータを、カネで終わる一発話の意味によって以下の8つに分類し、それぞれについて観察した。

1. 質問（回答要求・情報要求）
2. 確実性がややあいまいな事実を述べる
3. 自分の考えを述べる
4. 判断を述べる
5. 手順を提示する
6. 適切な表現探し
7. 依頼・指示
8. 許可を求める

上の8つに分類したデータを分析した結果、発話末をカネにすることによって、相手と一緒に考える気持ちがあるような印象を与えて相手に対する要求度をやわらげたり、相手と情報や知識や経験を共有したいという気持ちを表したり、考えや判断を強く主張せずにやや控え目に述べたり、相手の負担に対する配慮を表したりしていることが観察された。

そのほかに発話の意味にかかわらないフィラーと相づちにもカネが使用されている例が多数見られた。カネが付くフィラーのバリエーションは少ないが、どの年齢層でも多用されていることが明らかになった。相づちは、話し手と協力しながら会話を進めていく聞き手の手段であるため、カで終わらずにネを付けて話し手と協調する気持ちを表しているのであろう。

以上、最近使用されている発話末のカネについて、データを分類して得た結果から、「デスカネ／マスカネ」は、今後ますます使用頻度が増え、使用範囲が広がるだろうと予測される。また、留学生の発話にも「デスカネ／マスカネ」が頻繁に使用されていることから、この形式を留学生は頻繁に耳にしている、言い換えればこの形式が現在日本社会の中で多数使用されているということであり、今後留学生の使用も増えると予測される。

注

→ : 「→」の左が発話者、右がその発話に向けられた人を示す。

参考文献

- 熊野七絵(2000)「文末の「かね」の意味・機能—「疑いの表現」としての位置づけ—」『広島大学留学生センター紀要』10号, pp. 31-40
- 現代日本語研究会(2011)『合本 女性の言葉・男性のことば(職場編)』ひつじ書房
- 滝浦真人(2008)『ポライトネス入門』研究社
- 橋本 修(1992)「終助詞複合形の意味分析」『国語学会平成4年度春期大会要旨』, pp. 133-138
- 南不二男(1985)「質問文の構造」『朝倉日本語新講座4』朝倉書店, pp. 39-74